

報告1 2020年度 社会福祉法人椎の木福祉会 事業報告

1. 2020年度主要事業の進捗状況

1) 法人本部機能の強化

人事、経理等を法人が取りまとめて管理するなど新たな体制での運用を開始した。

2) 働き方改革と魅力ある職場作り

働き方改革関連法への対応をはじめ、働きやすい職場環境を整備する為に諸規程の見直し等を進めた。

3) 人材確保対策

法人本部に採用担当チームを作り、人材の確保に取り組んだ。コロナ禍の影響もあり、当初予定していた外国人人材の確保に向けた動きや大規模な職員採用イベントは中止となった。

4) 新規事業

障がいヘルパー事業の運営を開始するなど、障がい分野への参入を進めた。放課後等デイサービス、生活介護、就労支援、グループホームについては2021年度事業開始に向けて準備を進めた。尚、当初予定していた企業主導型保育所については、開設及び運営補助金の採択に漏れたため、中止となった。次年度以降の再申請については検討をしていく。

5) リスクマネジメント

大規模災害に備えBCPを作成し、非常食、防災設備等の整備を進めた。

6) 新型コロナウイルス感染症対策

マスクの着用、アルコール消毒などの基本的な感染症対策を徹底した。また、緊急事態宣言や地域の感染状況により、面会の自粛、テレビ電話面会の開始、スタッフのプライベートも含んだ行動自粛要請などの対策に取り組んだ。

2. 事業所別報告(実績・課題)

1) 特別養護老人ホーム瑞光の里

- ・【本館平均人数】特養 87.7 人、ショート 21.0 人であった。(目標:特養 88 人、ショート 19.5 人)
- ・【別館平均人数】特養 38.1 人であった。(目標:特養 39 人)
- ・【平均介護度】本館 3.9、別館 4.1 であった。(目標:本館 4.1、別館 4.2)
- ・介護福祉士比率の向上を図った。(常勤換算:48.49 人、目標:50 人)
- ・コロナ禍のため、各種研修が中止・参加辞退としたため認知症実践リーダー等の育成が進まなかった。
- ・ショートステイ緊急受け入れ体制を強化した。(対象問わず、措置入所を含む)
- ・高齢者虐待防止指針の周知とweb(お茶の水ケアサービス)を活用した職員教育の充実を図った。
- ・敷地斜面に防草シートを張り、職員の雑務を減らし入居者様に対するサービスの質の向上に努めた。
- ・板山地区の介護予防協議会へ参加し、地域から信頼される施設運営を行い職員のモチベーションアップを図った。
- ・新館のエアコンのメンテナンスを行い、次年度は別館のメンテナンスを行う予定。
- ・本館エレベーター改修の打ち合わせを開始し、次年度実施の予定を立てた。

2) 瑞光の里指定居宅介護支援事業所

- ・【平均人数】介護給付 108.7 人、予防給付 21.4 人であった。(目標:128 人、12 人)
- ・特定事業所加算Ⅱの算定を継続した。(一部、特定事業所加算Ⅲの期間あり)
- ・新たに居宅会議を開催し、居宅内の改善策を話し合い改善に努め働きやすい環境作りに努めた。

- ・情報伝達会議の実施方法の見直しを行った。また部署内の朝礼を継続し情報共有に努めた。
- ・コロナで開催見送りとなったものも多いが、半田市高齢介護課や半田市包括支援センターとの連携会議、半田市居宅介護支援事業所勉強会などへの参加を通じて地域包括ケアに積極的に取り組んだ。
- ・ZOOMを用いての他法人との合同事例検討会を継続した。
- ・デイサービスセンター第二瑞光の里と情報の共有や話し合いをして各ケースの問題解決に努めた。
- ・半田市包括支援センター、半田養護老人ホーム Link などからの処遇困難事例を積極的に受け入れた。
- ・介護支援専門員実務研修実習受入体制の確保。(コロナの影響で依頼は無かった。)

3) 特別養護老人ホーム第二瑞光の里

- ・【特養平均人数】特養 85.10 人であった。(目標:87 人)
- ・【SS平均人数】12.10 人であった。(目標:11 人)※障がい短期入所数込
- ・【平均介護度】3.99 であった。(目標:4.0)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:37.8 人、目標:38.6 人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行った。
- ・ZOOMを活用し、介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・共生型サービス事業を継続し、障がいの受け入れ体制を強化した。
- ・新型コロナウイルス対策と両立しながら地域交流を進め、地域から頼られる施設を目指し推進した。
- ・駐車場の拡充および施設設備見直しについて検討を進めた。
- ・ショートステイユニットを移設して、ユニット体制を強化した。
- ・施設内備品の管理体制の見直し、一斉整理、廃棄を行った。

4) デイサービスセンター第二瑞光の里

- ・【平均人数】26.5 人であった。(内訳:高齢 24.2 人、障がい 2.4 人、目標:27 人)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:4.2 人、目標:5 人)
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行った。
- ・共生型サービス事業開始に伴い、障がいの受け入れ体制を強化した。
- ・新規利用者獲得を目指し、関連事業所との信頼関係構築に努めた。
- ・新規利用者獲得を目指し、ニーズ調査を行い、必要とされるサービス体制の構築を行った。
- ・個別機能訓練加算 I の算定開始と次年度から算定開始する口腔機能向上加算の準備を行い、サービスの質の向上に努めた。
- ・ZOOM での外部研修を活用し、職員の援助技術の向上に努めた。

5) 半田養護老人ホーム Link

- ・【平均人数】48.0 人であった。(目標:48 人)
- ・新規入所受け入れ 8 名、退所 7 名、緊急ショート受け入れ 5 名であった。
- ・各市町村、関係機関への営業活動の継続、また他養護との関係強化も行き、新規入所者の獲得を目指した。他市町村からの入所受け入れは 5 名であった。(名古屋市 5 名)
- ・業務整理を行い、人員配置の見直しを行った。
- ・テレビ配線、Wi-Fi などの設備の見直し、改修を行った。
- ・施設内備品の一斉整理、廃棄を行った。
- ・QOLの向上を目指し、施設生活ルールの変更を検討し実施した。

- ・ADLの維持とQOLの向上のため、レクリエーションの充実を図った。
- ・入所者対応への意識改革を実施した。
- ・外部団体連携を継続し、入所者の心身機能低下防止、介護予防、認知症予防の取り組みに努めた。
- ・認知症・処遇困難の入所者対応の技術研鑽に努め、サービスの質の向上を諮った。
- ・リハビリ体制の強化を行い、ADL低下の防止に努めた。

6) 特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘

- ・【特養平均人数】93.9人であった。(目標:97人)
- ・【SS平均人数】20.7人であった。(目標:19.5人) ※空床型SS含む
- ・【平均介護度】4.1であった。(目標:4.0)
- ・介護福祉士比率向上に努めた。(常勤換算:42.9人、目標:40人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努めた。
- ・オンラインにより介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進めた。
- ・共生型サービスについての検討を進めた。
- ・職員の顧客意識を向上させ、接遇力を高めた。
- ・職員のモチベーションを高め、魅力ある施設運営を実践した。
- ・新型コロナ対策と両立しながら地域交流を進め、地域から頼られる施設を目指し推進した。
- ・日本福祉大学半田キャンパスとの交流をオンラインで進め、連携を図った。

7) 地域連携

① 困難事例の受け入れ(包括支援センター等)

瑞光の里・・・ 本入所 0件 短期入所 24件

第二瑞光の里・・・ 本入所 0件 短期入所 18件

緑ヶ丘・・・ 本入所 1件 短期入所 18件

② 地域交流・実習生受入実績

【椎の木福祉会】

- ・キャラバンメイト連絡会参加
- ・認知症サポーター養成講座に向けた動画作成参加
- ・板山小学校ゲストティーチャー講座
- ・日本福祉大学講師派遣(ソーシャルワーク実習関連)(オンライン)
- ・まなびとゼミ講師「腰痛予防講座」
- ・乙川中学校にて職講演会 講師派遣「福祉のお仕事」
- ・半田農業高校へキャラバンメイトとして講師派遣

【特別養護老人ホーム瑞光の里】

- ・実習受け入れについてはコロナ禍のため全面的に中止とした。
- ・半田居宅介護支援事業所勉強会(HKB)参加
- ・半田市包括支援センター運営協議会参加
- ・半田青山地区介護予防生活支援協議会参加

【特別養護老人ホーム第二瑞光の里】

- ・出張相談窓口(ふらっとスペースならわ)

- ・任坊山公園のクリーン活動
- ・NPO 法人共育ネットはんだ・みんなのカフェともども・障がい児の就労支援(ワンデイシェフ)
- ・地域会議参加(半田南部多機関連携会議、半田中学校区多機関連携会議、介護予防生活支援協議会)
- ・地域住民、ボランティア受入(コロナのため中止)
- ・介護福祉士実習受入(名古屋福祉専門学校3名)
- ・社会福祉士実習受入(コロナため実習中止、日本福祉大学美浜キャンパス学内実習用の教材撮影に協力)

【半田養護老人ホームLink】

- ・地域会議参加(半田中部多機関連携会議)
- ・土井山緑地の清掃活動(コロナのため中止)
- ・太陽クラブ(学童)交流(慰問来訪、イモ掘りは中止となったが、関係継続を図った)
- ・日本福祉大学スポーツ科学部フィールドワーク学生受け入れ(コロナのため中止)
- ・日本福祉大学健康科学部、社会福祉士相談援助実習 A、B 受入(コロナのため中止)

【特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘】

- ・日本福祉大学 半田キャンパス 福祉工学科 建築バリアフリー専修と交流(オンラインにて)
- ・社会福祉士実習受入(新型コロナウイルスため実習中止)
- ・介護福祉士実習受入(新型コロナウイルスため実習中止)
- ・交通立哨及び清掃活動(年3回実施)
- ・亀崎駅前ほうす出張相談会、亀崎ふくし事業者連絡会参加
- ・認知症サポーター養成講座(キャラバンメイト) 琴葉はんだにて開催
- ・亀崎地区認知症カフェ検討会議参加

③医療法人中野会との連携

- ・法人本部会議の開催(年12回)

以上